

# 矢臼別平和委員会事務局短信

2020・08.14 文責；中村忠士

## 河野防衛大臣、湯浅陸幕長、田中教育訓練研究本部長に抗議要請

8月13日付で、河野太郎防衛大臣、湯浅悟郎陸上幕僚長、田中重伸陸自教育訓練研究本部長の3氏にあて、実動対抗演習の中止を求める抗議・要請書を郵送しました。

湯浅陸幕長には、下記と同文。田中本部長には、前回の対抗演習で引き起こした問題（団結道路を塞ぐ形で隊員が休憩していた・通告時間外の早朝に射撃した・スパークでマスクもつけず多数の隊員が買い物をしていた）について文書で説明するように求めています。

2020年（令和2年）8月13日

防衛大臣 河野太郎様

矢臼別平和委員会 会長 上出雅彦

### 第5旅団、第10師団による実動対抗演習の中止を求めます

先日防衛省から「令和2年度北海道訓練センター第2回運営の概要」が公表されました。

それによると、本年8月15日から9月21日までを期間として、第5旅団・第6普通科連隊基幹と第10師団・第33普通科連隊基幹による実動対抗演習が北海道・矢臼別演習場で実施されるということです。

矢臼別演習場では、6月30日から7月8日にかけて、第7師団と第9師団による2千人超の大規模な対抗演習が行われたばかりです。

今回の対抗演習の人員規模については公表されていませんが、前回の演習から予測されることから今回も大規模な演習になることは間違いないものと考えています。

また、公表されている文書には、今回演習の「特色」として、「実相に近い作戦環境下で実施する、諸職種協同の実動対抗演習」と明記されており、極めて実戦的・即応的な演習であることが明らかになっています。

矢臼別演習場において、こうした大規模な対抗演習が連続して行われることの危険性、騒音・振動や車両の通交等による生活や生産に対する影響を住民は強く危惧しています。

そもそも、新型コロナウイルスの新たな感染拡大が深刻さを増している中、多数の隊員と物資・装備品が県をまたいで大移動することは許されることではありません。

また、感染拡大を抑えるため、PCR検査の抜本的拡充や医療体制の整備等は喫緊の課題であり、国の財政はそこに集中しなければならない時でもあります。大規模な兵員、物資・装備品の移動、輸送に莫大な血税を使うわけにはいかないのです。

実戦的な大規模演習を実施することで北東アジアに無用な軍事的緊張をつくるばかりでなく、全国・国民が必死になってとりくんでいる新型コロナ対策のとりくみを妨害する今回の実動対抗演習は中止するよう強く求めるものです。

クもつけず多数の隊員が買い物をしていた）について文書で説明するように求めています。

はがきなどで抗議と要請の声を防衛大臣・陸幕長に集中しよう！  
〒100-0001 東京都新宿区市谷本村町5の1 防衛省 防衛大臣 河野太郎様  
〒100-0002 東京都新宿区市谷本村町5の1 陸上幕僚監部 陸上幕僚長 湯浅悟郎様